

物部神社は川合町にあり、石見国一宮としても有名です（ちなみに、出雲国一宮は出雲大社と熊野大社です）。

その歴史は古く、社伝によると物部氏初代の宇摩志麻遲命（うましまじのみこと）を主祭神とし、継体天皇8年（513）に天皇の命により社殿が創建されたと伝えられています。本殿は宝暦3年（1753）に再建され、安政3年（1856）に改築されています。現在の本殿はこのときに再建された様式を引き継いでおり、県内では出雲大社に次ぐ大規模な本殿となっています。

なお、本殿の春日造りでは日本一の大きさで、昭和45年に島根県指定の有形文化財となっています。



このような歴史をもつ物部神社は、境内の空気が張りつめる靈験あらたかな神社であり、古来より文武両道、鎮魂、勝運の神として多くの人々の信仰を集めています。

### ＝ 物部神社への行き方 ＝

国道9号「和江漁港入口」交差点から、国道375号を道なりに約6km。物部神社の標識のある交差点を左折し約100m。バスを利用する場合は、大田市駅から三瓶線または赤名線で「川合」停留所で下車し約200m。大田市駅から車で約15分。詳しくは、川合まちづくりセンター ☎(0854-82-5124) まで。



毎年1月7日に行われるぶしやさい奉射祭

### 表紙 あの頃～三瓶町志学温泉街(昭和40年代)～

表紙の写真は昭和40年代の三瓶町志学温泉街の写真です。

当時は三瓶温泉ではなく「志学温泉」と呼んでいたそうです。また、温泉街には「三瓶そば」の蕎麦屋・寿司屋やお土産物屋の他に、娯楽場として射的場、パチンコ屋などが立ち並び、どの店も観光客で大変賑わっていたようです。写真に写っているのは、ほとんどが観光客で、人通りが多い時は子どもの足では「つるや」のお風呂から前のお店に渡ることが困難だったそうです。



現在



雪あかり

当時と比べ現在では訪れる人も少なくなっ

てしまいましたが、何とか賑わいを取り戻そう、志学を元気にしようと志学まちづくりセンターを中心に、今年の2月に約1200個のミニかまくらを作ってその中にロウソクの明りを灯した「雪あかり」、3月にはまちづくりセンターに雛人形や折り紙による人形を飾った「ひなまつり」、今夏には地元の温泉「鶴の湯」、「亀の湯」を中心に風鈴を飾った「ふうりんおんせん2010」が行われました。

帰省の際には、ぜひ三瓶温泉街にお立寄りください。

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>  
“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>